

個人質問

|              |             |          |
|--------------|-------------|----------|
| 議会事務局<br>処理欄 | 令和 6年 2月 8日 | 8時30分 受付 |
|              | 質問 順位       | 第 6 番    |

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 石川 喜次

一般質問の通告について

令和6年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

| 質問事項                  | 質問の要旨(具体的にご記入願います)  |
|-----------------------|---|
| <p>1. 企業誘致の促進について</p> | <p>企業誘致は、地域経済を活性化するための取り組みの一つであり、新規雇用や税収の増加につながり、自治体におけるメリットである。そのため、多くの自治体で、企業の誘致や新規事業を促進するために、助成金や税制の優遇措置などを実施し、積極的な企業誘致を図っている。本町においても、平成19年に「武豊町新産業立地促進条例」、平成30年に「武豊町工場立地法地域準則条例」を制定し、企業に対し優遇制度を設けている。</p> <p>しかしながら、現在、町内には優遇税制を受けられる工業地域、工業専用地域には既存企業が立地し空き地が殆どなく、工業用地の必要な新規企業の進出が困難な状況にあると考える。</p> <p>武豊町においては、今後、人口減少、少子高齢化を迎えることが予想され、人口構造の変化に伴う税収の減少と社会保障費の増大、さらには公共施設などの社会基盤施設の老朽化の進行に伴う改修費等により、財政に対する負担の増加が懸念されている。</p> <p>このような背景から、さらなる自主財源の確保を目指し、第6次武豊町総合計画の基本構想では、「土地利用構想」に「町のさらなる活力を創出する産業地の確保の検討を進める。」とし、基本計画の産業分野において、「新たな企業参入等の促進につながる施策を推進する。」「新たな工場用地の確保について検討を進める。」としている。また、都市計画マスタープランの土地利用に関する課題では、「新たな工業系市街地の確保を図ることが必要」とし、財政に関する課題では、「新たな企業誘致などで町税の増収を図っていくことが必要」としており、武豊北インターチェンジ西側や南部の名鉄河和線西側などにおいて、新たな企業誘致を図る市街地の形成を検討するとしている。</p> <p>そこで以下質問をする。</p> |
|                       | <p>【質問事項】</p> <p>①企業誘致についての本町の考えは。</p> <p>②企業誘致のこれまでの取り組みは。</p> <p>③企業誘致の促進にあたり、課題は何か。</p> <p>④企業誘致に向けた今後の取り組み方とスケジュールは。</p>  |